



■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE横浜2022年版 v.1.1

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	プライムパークス横浜 並木ザ・レジデンス イースト	階数	地上7F
建設地	神奈川県横浜市金沢区並木三丁目1-1	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	597 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年5月 予定	評価の実施日	2023年5月10日
敷地面積	7,140 m <sup>2</sup>	作成者	(株)長谷工コーポレーション
建築面積	2,921 m <sup>2</sup>	確認日	2023年5月10日
延床面積	14,749 m <sup>2</sup>	確認者	(株)長谷工コーポレーション



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.5** ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%  
②建築物の取組み 74%  
③上記+②以外の 74%  
④上記+ 74%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.3**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.9

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.7

**LR のスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.3

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 地域環境や街並みとの調和を図り、省エネルギーや環境負荷軽減を考慮しつつ、敷地内の防犯や利便性、室内の快適性に配慮した計画としている。	<b>その他</b> LED、省エネ設備、複層ガラスを採用。	
<b>Q1 室内環境</b> 二重壁工法によりDr-50を目標値に設定 F☆☆☆☆を床・壁・天井・天井裏の70%以上の面積に採用している。	<b>Q2 サービス性能</b> 劣化対策等級3を取得。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 建物の配置、形態、植栽を地域環境や街並みとの調和に配慮した計画としている。
<b>LR1 エネルギー</b> 断熱性能等級4を取得。 潜熱回収型給湯器エコジョーズを採用。 LED照明を共用部全てに採用。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 内装の更新性に配慮し二重天井を採用した。	<b>LR3 敷地外環境</b> ごみ置き場を敷地内に設けることで、敷地外への環境に配慮した。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 ■ LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい

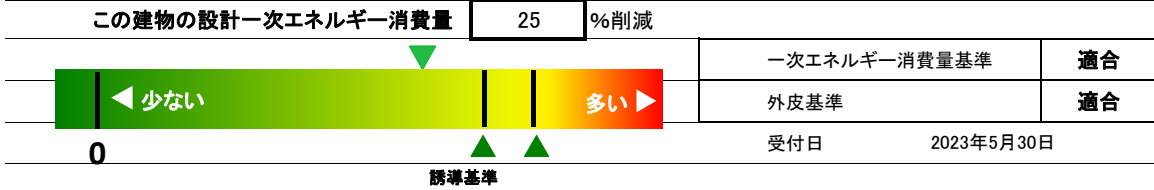


### 4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <集合住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。 建物名称 **プライムパークス横浜並木ザ・レジデンスイースト**

#### 建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 **5**

##### ■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



##### ■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

- ①建物外皮の熱負荷抑制:断熱等級4を超える性能
- ③設備システムの高効率化:LED照明を共用部に採用、潜熱回収型給湯器エコジョーズを採用

#### 健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【健康・安心】 **4**

##### ■室内環境対策 (⑤外皮性能)

◆断熱等性能等級 等級4を超.(相当) ※全住戸の断熱性能のレベルの加重平均による

##### ■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)

##### ■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

#### 防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防 災】 **3**

##### ■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑯部品・部材の耐用年数向上:構造躯体劣化等級3を取得予定

#### 地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 **3**

##### ■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

##### 太陽光発電などの導入

—

##### 環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

##### エネルギーマネジメントシステム導入

— — —



CASBEE横浜2022年版v.1.0

プライムパークス横浜並木ザレジデンスイースト

バージョン

CASBEE横浜2022年版v.1.0

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
				<b>Q 建築物の環境品質</b>						
<b>Q1 室内環境</b>										<b>3.9</b>
<b>1 音環境</b>				<b>3.0</b>	0.15	<b>3.1</b>	1.00			<b>3.1</b>
1.1 騒音				3.0	0.50	3.0	0.50			-
1.2 遮音				<b>3.0</b>	0.50	<b>3.3</b>	0.50			-
1 開口部遮音性能				3.0	1.00	3.0	0.30			-
2 界壁遮音性能				3.0	-	4.0	0.30			-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	3.0	0.20			-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	3.0	0.20			-
1.3 吸音				-	-	-	-			-
<b>2 温熱環境</b>				<b>2.5</b>	0.35	<b>5.0</b>	1.00			<b>4.8</b>
2.1 室温制御				<b>2.2</b>	0.63	<b>5.0</b>	1.00			-
1 室温	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	3.0	0.63	-	-			-
2 外皮性能	快適・働きやすさ	健康・安心	⑨温熱環境 ⑤外皮性能	1.0	0.38	5.0	1.00			-
3 ソーン別制御性	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	-	-	-	-			-
2.2 湿度制御	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	-	-	-	-			-
2.3 空調方式	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	<b>3.0</b>	0.38	-	-			-
<b>3 光・視環境</b>				<b>2.6</b>	0.25	<b>3.5</b>	1.00			<b>3.4</b>
3.1 昼光利用				<b>4.2</b>	0.50	<b>4.0</b>	0.50			-
1 昼光率	快適・働きやすさ		⑩光環境	5.0	0.60	5.0	0.50			-
2 方位別開口	快適・働きやすさ		⑩光環境	-	-	3.0	0.30			-
3 昼光利用設備	快適・働きやすさ		⑩光環境	3.0	0.40	3.0	0.20			-
3.2 グレア対策				<b>1.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.50			-
1 昼光制御	快適・働きやすさ		⑩光環境	1.0	1.00	3.0	1.00			-
3.3 照度	快適・働きやすさ		⑩光環境	-	-	-	-			-
3.4 照明制御	快適・働きやすさ		⑩光環境	-	-	-	-			-
<b>4 空気環境</b>				<b>3.6</b>	0.25	<b>3.6</b>	1.00			<b>3.6</b>
4.1 発生源対策				<b>4.0</b>	0.60	<b>4.0</b>	0.63			-
1 化学汚染物質	快適・働きやすさ		⑪空気環境	4.0	1.00	4.0	1.00			-
4.2 換気				<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.38			-
1 換気量	快適・働きやすさ		⑪空気環境	3.0	0.50	3.0	0.33			-
2 自然換気性能	快適・働きやすさ		⑪空気環境	-	-	3.0	0.33			-
3 取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ		⑪空気環境	3.0	0.50	3.0	0.33			-
4.3 運用管理				-	-	-	-			-
1 CO <sub>2</sub> の監視	快適・働きやすさ		⑪空気環境	-	-	-	-			-
2 喫煙の制御	快適・働きやすさ		⑪空気環境	-	-	-	-			-
<b>Q2 サービス性能</b>				-	0.30	-	-			<b>3.2</b>
<b>1 機能性</b>				<b>3.0</b>	0.40	<b>3.8</b>	1.00			<b>3.7</b>
1.1 機能性・使いやすさ				<b>3.0</b>	0.40	<b>5.0</b>	0.60			-
1 広さ・収納性	快適・働きやすさ		⑫機能性	-	-	-	-			-
2 高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ		⑫機能性	-	-	5.0	1.00			-
3 バリアフリー計画	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	1.00	-	-			-
1.2 心理性・快適性				<b>3.0</b>	0.30	<b>2.0</b>	0.40			-
1 広さ感・景観	快適・働きやすさ		⑫機能性	-	-	3.0	0.50			-
2 リフレッシュスペース	快適・働きやすさ		⑫機能性	-	-	-	-			-
3 内装計画	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	1.00	1.0	0.50			-
1.3 維持管理				<b>3.0</b>	0.30	-	-			-
1 維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	0.50	-	-			-
2 維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	0.50	-	-			-
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>3.0</b>	0.30	-	-			<b>3.0</b>
2.1 耐震・免震				<b>3.0</b>	0.50	-	-			-
1 耐震性	防災		⑮耐震・免震	3.0	0.80	-	-			-
2 免震・制振性能	防災		⑮耐震・免震	3.0	0.20	-	-			-
2.2 部品・部材の耐用年数				<b>3.4</b>	0.30	-	-			-
1 躯体材料の耐用年数	防災		⑯部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-			-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	防災		⑯部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-			-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防災		⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-			-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	防災		⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-			-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	防災		⑯部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-			-
6 主要設備機器の更新必要間隔	防災		⑯部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-			-
2.4 信頼性				<b>2.6</b>	0.20	-	-			-
1 空調・換気設備	防災		⑰信頼性	1.0	0.20	-	-			-
2 給排水・衛生設備	防災		⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
3 電気設備	防災		⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
4 機械・配管支持方法	防災		⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
5 通信・情報設備	防災		⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
<b>3 対応性・更新性</b>				<b>3.0</b>	0.30	<b>2.8</b>	1.00			<b>2.8</b>
3.1 空間のゆとり				-	-	<b>2.6</b>	0.50			-
1 階高のゆとり				-	-	3.0	0.60			-
2 空間の形状・自由さ				-	-	2.0	0.40			-
3.2 荷重のゆとり				<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	0.50			-
3.3 設備の更新性				<b>3.0</b>	1.00	-	-			-
1 空調配管の更新性				3.0	0.20	-	-			-
2 給排水管の更新性				3.0	0.20	-	-			-
3 電気配線の更新性				3.0	0.10	-	-			-
4 通信配線の更新性				3.0	0.10	-	-			-
5 設備機器の更新性				3.0	0.20	-	-			-



スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	6	バックアップスペースの確保	<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数		
			Q3 室外環境(敷地内)					-	0.30	-
1 生物環境の保全と創出			地域・まちづくり	⑧生物環境の保全と創出	2.0	0.30	-	-	2.0	
2 まちなみ・景観への配慮			地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮	3.0	0.40	-	-	3.0	
3 地域性・アメニティへの配慮					3.0	0.30	-	-	3.0	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			地域・まちづくり	⑩地域性への配慮	3.0	0.50	-	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			快適・働きやすさ	⑪敷地内温熱環境の向上	3.0	0.50	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-	-	-	3.4	
LR1 エネルギー					-	0.40	-	-	4.3	
1 建物外皮の熱負荷抑制			省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制	5.0	0.20	-	-	5.0	
2 自然エネルギー利用			省エネルギー性能	②自然エネルギー利用	2.0	0.10	-	-	2.0	
3 設備システムの高効率化			省エネルギー性能	③設備システムの高効率化	5.0	0.50	-	-	5.0	
4 効率的運用					3.0	0.20	-	-	3.0	
			集合住宅以外の評価		-	-	-	-	-	
	4.1	モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-	-	
	4.2	運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-	-	
		集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	-	
	4.1	モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-	
	4.2	運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル					-	0.30	-	-	2.7	
1 水資源保護					2.2	0.20	-	-	2.2	
1.1 節水					1.0	0.40	-	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					3.0	0.60	-	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減					2.7	0.60	-	-	2.7	
2.1 材料使用量の削減					3.0	0.10	-	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用					3.0	0.20	-	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用					3.0	0.20	-	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用					1.0	0.20	-	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材					2.0	0.10	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み					4.0	0.20	-	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避					3.3	0.20	-	-	3.3	
3.1 有害物質を含まない材料の使用					4.0	0.30	-	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避					3.0	0.70	-	-	-	
	1	消火剤			-	-	-	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	-	-	
	3	冷媒			3.0	0.50	-	-	-	
LR3 敷地外環境					-	0.30	-	-	3.1	
1 地球温暖化への配慮					4.0	0.33	-	-	4.0	
2 地域環境への配慮					2.8	0.33	-	-	2.8	
2.1 大気汚染防止					3.0	0.25	-	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善					3.0	0.50	-	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制					2.5	0.25	-	-	-	
	1	雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	-	
	2	污水处理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-	
	3	交通負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制			1.0	0.25	-	-	-	
3 周辺環境への配慮					2.7	0.33	-	-	2.7	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.40	-	-	-	
	1	騒音			3.0	1.00	-	-	-	
	2	振動			-	-	-	-	-	
	3	悪臭			-	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制					1.6	0.40	-	-	-	
	1	風害の抑制			1.0	0.70	-	-	-	
	2	砂塵の抑制			1.0	-	-	-	-	
	3	日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	-	
3.3 光害の抑制					4.4	0.20	-	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			5.0	0.70	-	-	-	
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	-	
上記以外の重点項目							-	-	-	
<事務用途>							-	-	-	
知的生産性向上への取組			快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組	1.0	-	-	-	-	
<住宅用途>							-	-	-	
健康と安心							-	-	-	
1 化学汚染物質の対策			健康・安心	⑭健康対策	3.0	-	-	-	-	
2 適切な換気計画			健康・安心	⑭健康対策	3.0	-	-	-	-	
3 結露・カビ対策			健康・安心	⑭健康対策	3.0	-	-	-	-	
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)			健康・安心	⑮防犯対策	1.0	-	-	-	-	